

四万十町 議会だより

NO.72

2024年8月10日発行
高知県四万十町議会

(紹介記事は P.20)

6月定例会(会期6月5日～6月13日《9日間》)

P.2

議案審議

P.3～P.11

一般質問 定額減税の中身など…8人が質す

P.19

キャッチボール(ケーブルテレビインターネット回線の改善)

P.20

ありやどうなっちゅうぜよ(こども家庭センター『楓』)

議案審議

損害賠償の額を定めることについて

賠償金額310万3920円(町の過失割合10割)

令和5年5月8日に町道大道日吉線において発生した落石事故で、通りかかった車から降車し、落石除去作業を終えて車内に戻るとした際、新たな落石により運転していた方が負傷したものの。

Q 令和5年度中の事故だが、賠償金の支払いがどのような過程で今日までに至ったのか。

A 負傷された方が入院・職場復帰後も通院されたことと、治療関係費について労災を適

用していることから、須崎労働基準監督署や高知労働局との書類関係で今日までになったもの。

松葉川地区基幹集落センター新築工事請負契約の締結について

これまで松葉川地区には、コミュニティ活動を促進する施設が無く、また、作屋就業改善センター及び七里集会所の両施設ともに老朽化に伴い取り壊しを進めており、その代替施設として防災機能を備えた松葉川地域の拠点となる基幹集落センターを整備し、コミュニティ活動の推進を図るもの。

(請負契約、契約金額等についてはP14、P15に記載)

東又小学校校舎棟大規模

改修工事請負契約の締結について

校舎棟は、昭和60年度の建築で39年が経過し修繕、改修工事の必要性が高まっていることや、第2期四十町立小中学校適正配置計画において、今後

(請負契約、契約金額等についてはP14、P15に記載)

窪川学校給食センター厨房機器入替え工事に係る厨房機器の売買契約の締結について

給食センターは、整備後15年が経過。調理場内の全自動型炊飯ラインの各

機器が老朽化しており、適切な調理業務が行えるよう厨房環境の改善を行うもの。

(請負契約、契約金額等についてはP14、P15に記載)

四十町指定ごみ袋の売買契約の締結について

一般廃棄物の指定ごみ袋可燃用(大)46万枚、可燃用(小)18万枚、資源用(大)6万2500枚、資源用(小)3万枚を購入するもの。

(請負契約、契約金額等についてはP14、P15に記載)

スポーツトラクターの売買契約の締結について

窪川運動場で維持管理用

として使用しているもので、購入から25年が経過し更新するもの。
(請負契約、契約金額等についてはP14、P15に記載)



一般質問

執行部を質す



林 健三 議員……………P.4

- 発災時の孤立箇所は
- 「100年の森」管理は



中屋 康 議員……………P.5

- 特化した体制づくりが必要（人口減少対策）
- 地域包括ケアシステムは万全か



山本 大輔 議員……………P.6

- 自治体ライドシェアは
- 現図書館トイレの改修は



古谷 幹夫 議員……………P.7

- 見直し議論再開は（文化的施設）
- 概要と導入効果は（新図書館情報システム）



下元 真之 議員……………P.8

- 要件をつけて判断が必要（行政事務の撤退戦略）
- 毎年モニタリングする仕組みを（指定管理）



田邊 哲夫 議員……………P.9

- 定額減税の中身を問う
- 学校給食の残食率は



佐竹 将典 議員……………P.10

- 倒壊しかけた建物について



堀本 伸一 議員……………P.11

- 町民全体に陳謝すべき
- 政治判断の欠如では

一般質問は議員自身の考え方をもちに、持ち時間一人60分の制限時間の中で、町長や教育長の方針・考え方を問うもの。6月議会では8人の議員が質問。議会だよりでは質問と答弁を要約し掲載する。

地震災害対策

発災時の孤立箇所は

町内58カ所が想定される

危機管理課長



林 健三 議員

は町内58カ所となっている。その対策として、ヘリポート49カ所、備蓄については二次避難所35カ所、3.5日分を整備し、興津、志和地区については1週間程度の備蓄整備を行っている。

農業担い手センターと旧若井川小学校グラウンド。大正エリアは貯木場跡地と大正ゲートボール場。十和エリアでは旧昭和中学校グラウンドとなっている。

林 先般、豊後水道で観測された地震を受けて、本町における発災時に想定される孤立集落箇所数と、対応策への整備状況を聞く。

味元危機管理課長 農林

業センサスによる県の調査では、道路交通、海上交通による人の移動、物資の流通が困難もしくは不可能とされる孤立箇所

林 仮設住宅建設

の必要が生じた場合の備えとして、用地確保はできているか。

下元建設課長 四

万十町南海トラフ地震応急期機能配置計画において、窪川エリアは県立



二次避難所の防災倉庫

町有林管理

「100年の森」管理は

3回目の間伐を実施する／農林水産課長

林 町有林の面積はどのくらいか。令和6年度の間伐、新植等の施業計画を示せ。

佐竹農林水産課

長 町有林の全

体の面積は26

41haで今年度

の管理は窪川で

1カ所、大正2

カ所において搬

出間伐を16.1ha、

作業道開設30

00mを予定し、もう1

カ所は大正地区で0.73haの

皆伐と再造林を計画して

いる。

林 大正地区にある「100年の森」管理状況を

聞く。

佐竹農林水産課長 大正

グシヨノ森（面積3.79ha）



大正地区にある「100年の森」

が「100年の森条例」に制定されており、植栽本数は1ha当たり3000本。これまでに30%間伐を2回実施しており、今年度で3回目を実施することになる。施業後は1200本程度の本数が残る予定となる。



中屋 康 議員

特化した体制づくりが必要ではないか

機動力ある組織強化をする／町長

中屋 今後30年間で「消滅可能性自治体」を予測する民間の調査結果で、本町も該当しているが、これからの人口減少対策について取り組み姿勢を聞く。

中尾町長 大変厳しい報告と受け止めている。県も人口減少対策を最大の政策課題としており、県と連携強化を図り、本町も同様に中心施策と捉えて推進していく。

中屋 人口減少対策として、移住・定住、婚活、お試し住宅など、各課においてこれまで取り組んでいるが、この機に人口減少対策に特化した庁内の体制づくりを構築する考えはないか。



実効性ある人口減少対策が求められる

川上企画課長 これからは行政主導で産学官民が一体となること。また、県と歩調を合わせながら、プロジェクトチーム等、専門係・課内室の設置も視野に入れて検討していくことが必要と考える。

中尾町長 実効性を伴った機動力のある組織体制強化を考えている。

地域包括支援

地域包括ケアシステムは万全か 医療連携などに課題がある

／高齢者支援課長

中屋 団塊世代が75歳以上に達する「2025年問題」を間近にして、住まい、医療、介護、介護予防、生活支援の各分野を一体的に提供する地域包括ケアシステムは万全か。

1の体制づくりが急務だが人員配置は万全か。

大や課題の複雑化・多様化を背景に相談件数が増加し、職員のスキルアップも必要となっている。

三本高齢者支援課長 地域包括支援センターは、社会福祉士、保健師、主任ケアマネジャーの3職種の配置が必要で、本庁、大正、十和を合わせて専門職は13人の配置となっている。国の高齢者人口基準に照らすと充足しているが、近年の介護ニーズ増

三本高齢者支援課長 介護人材不足や在宅医療・介護の連携などにおいて課題がある。100%万全ではないが、今後も関係機関などとの連携強化に努める。

中屋 地域包括ケアを実現する上で、活動の要となる地域包括支援センタ



地域包括ケアシステムの肝となる医療との連携

地域交通

自治体ライドシェアは 国の動向、既存の交通事業者の ことも踏まえ前向きに検討する

／企画課長



山本 大輔 議員

山本 自治体ライドシェアの条件付き緩和は、本町にとって町民の移動手段を整備する有効な手段になると考えるが、執行部の考えはどうか。

川上企画課長 今回の制度緩和に伴い、以前よりは導入しやすい傾向にある。しかし、既存の輸送サービスを補完するとい

う国の目的からして、まずは既存の交通網の再構築が前提になると考える。

山本 まだまだ制度的にも変化がありそうな自治体ライドシェア

について、本町としてもアンテナを広げて積極的に取り組んでもらいたいと期待するがどうか。

川上企画課長

この制度については、今後まだまだ広がっていく可能性は大い



交通結節点の駅

にある。ハードルは高いが、既存の事業者のことも踏まえ、国の動向を注視しながら、前向きに検討はしていきたい。

図書館・美術館施設

現図書館トイレの改修は 現施設の改修は不透明だ／生涯学習課長

山本 文化的施設整備事業は中止ということにはなつたが、現施設の現状についてはどう考えるか。

今西生涯学習課長 蔵書の収容スペース、美術館の収蔵環境、障害者用トイレなどのユニバーサルデザインへの対応等課題は多い。

山本 現施設の大規模な改修は困難だと思うが、できることから解決していかねばならない。特にトイレの改修について多く耳にするが、トイレの改修についてはどうか。



町立図書館

今西生涯学習課長 現施設の今後の方針が明確にならないと、現施設の改修については不透明である。

その他の質問

- 大規模災害時の対応について
- 防犯カメラの設置状況・支援について



古谷 幹夫 議員

見直し議論再開は町長の重要な責任の一つではないか

教育委員会部局と綿密に調整し進めていく／町長

古谷 文化的施設整備事業が結果的に廃案となったことを町長はどう総括しているのか。

中尾町長 一度原点に立ち返って取り組みを始めるべきではないかというところで、もろもろこれまでの総括もしている。

自分から断念したのでなく、議会の議決によって断念せざるを得なかったと理解している。

古谷 規模の問題も含め、住民の参画も得ながら、次へ歩んでいく道標を示すべきと考える。

これまでを振り返り、現況施設をどうしていく



町立図書館

かの見直し議論を再開することは、町長の重要な責任の一つではないか。

中尾町長 約2000㎡の施設は廃止となった。それはお互いの共通認識である。

今後、生涯学習課を中心にリスタートを切ることになると思う。

教育委員会部局と綿密に調整しながら進めていきたい。

図書館情報システム

概要と導入効果は

利用者の利便性が大きく向上

／生涯学習課長

古谷 新たに導入された図書館情報システムの概要と導入効果は。

なったことで利用者の利便性が大きく向上している。

ない。

現状においては、各校の方から町立図書館のインターネットサービスを利用することは可能となっている。

今西生涯学習課長 システムの概要としては、図書館の利用者登録、蔵書の貸し出し、返却や予約管理など、図書館業務に必要な一般的機能を有している。

従前のシステムとの違いとして、オンライン処理が可能となり、本館、分館、移動図書館においてリアルタイムで利用者の登録や貸し出し処理などができる。

また、インターネットサービスができるように

学校図書館

については、

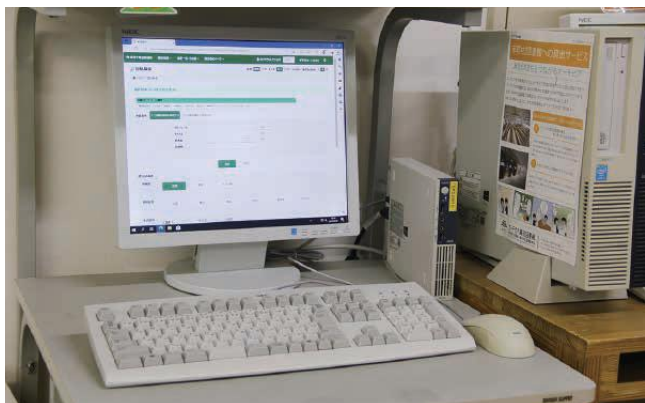
各学校への学校図書館システム

の整備や

図書館資料のデータ化など

課題があり今

すぐに連携できる状況には



利用者の利便性向上が期待される図書館情報システム

行政事業の撤退戦略

要件をつけて判断が必要

厳しい評価の事業は翌々年に

最終判断／町長



下元 真之 議員

下元 行政事業の撤退を判断する手順や設定、仕組みはできているとのことだが、実際に事業の撤退を判断する場合に「行政評価の仕組み」が機能しているか考え方を問う。

川上企画課長 評価の視点を「継続ありきの視点」と「廃止を前提の視点」で考えると、評価結果に影響が出てくると考えており、今後の事務事業執

行の中で改善しながら考えていく。

下元 変化の激しい時代であり、新しい行政課題に対する議論もどんどん出てきている時代だ。

「新しい行政課題が出てくる」のに、「これまでの事業はそのまま置いている」と、限られた職員での対応では負担が大きくなっている。

行政評価で厳しい評価の事業には、要件をつけて一定の判断をしていくことが必要ではないか。

中尾町長 人口減少問題をはじめ新たに肝となる



産業振興塾の取り組みで東京のルミネマルシェに出店

事業が増えており、取捨選択をしながら「廃止できるものは廃止する」との基本的な考え方をもち評価しているが、受益者がいるため翌々年に最終判断との考え方で進めたい。

指定管理者の評価

毎年モニタリングする仕組みの整備が必要
事業を行政評価の中で議論することが先

／総務課長

下元 指定管理者の行政評価について、現状と今後の工夫を問う。

池上総務課長 指定管理者について特別に評価することはしていない。毎年度の事業終了後に出る実績報告を担当課で確認している状況だ。

工夫としては公募の審査段階で完全に民間の審査員による審査や、事業実施の中で問題がある場合には指定を取り消す条例も制度上はあり、もしもの時の評価もされている。

下元 指定管理者が自己評価をし、担当課の内部評価や（審査会等の）外部評価など、毎年モニタリングして点検や評価する仕組みを指定管理者に対しても整備していく必要があるのではないか。



指定管理施設の集落活動センターけやき

池上総務課長 指定管理者の評価より、その事業そのものを行政評価の中に取り入れて議論している。

とが先ではないかと考えている。

その他の質問

- 町内出生数60人時代の学校経営
- 住宅の断熱に関する制度改正



田邊 哲夫 議員

定額減税の中身を問う

減税は6月から、自営業者等は次の確定申告／税務課長

西岡税務課長 住民税1万円の減税については、

田邊 6月から国は定額減税を実施することになる。町民はこの定額減税の中身を十分理解していない。6月からどのような人がどのように減税されるのか、具体的な中身を問う。

給与収入のある方は、減税後の税額が7月からの給与で天引きされる。また、所得税減税の3万円は、3万円が引きされるまで源泉徴収分から減税されることになる。一方、自営業者や2カ所以上から収入のある方の所得税減税は、次の確定申告時に差し引くことになる。

定 額 減 税 の 概 要	
定額減税の減税方法	
①年末調整している方（給与所得者） 給与所得の方は毎月の給与等から所得税を源泉徴収しており、年末調整でその年の所得税の精算を行っています。	所得税： 6月1日以降に支払われる給与等（賞与を含みます）の源泉徴収税額から順次減税し、減税しきれない場合は、年末の源泉徴収税額から減税されます。
住民税所得割： 定額減税後の税額を令和6年7月～翌年5月に支払われる給与から天引きします。	
②確定申告している方（事業収入のある方） 営業・農業など事業収入のある方は、確定申告で所得税を確定し納付しています。	所得税： 令和6年分の確定申告（令和7年2月16日～3月15日）で確定した所得税より減税します。
住民税所得割： 6月に発送する令和6年度住民税納税通知書で、定額減税後の納税額をお知らせします。	
注意！・・・住民税は前年中の収入状況が課税対象、所得税はその年の収入状況が課税対象となります。	
令和6年度の住民税は、令和5年中の収入状況が課税対象 令和6年分の所得税は、令和6年中の収入状況が課税対象 となります。	

長森学校教育課長 給食センター毎に差がある。各給食センターでの残食率は十和で0.31%、大正で1.13%、窪川で2.42%となっており、窪川地域での残食率が多い。令和5年度はインフルエンザの感染者が多くなり、体調不良で休む生徒が多かったこと

田邊 令和5年度より小中学校の給食が無償化され1年が経過した。物価高騰のため給食食材も値上がりし大変だと思う。本町には3カ所に給食センターがあり、生徒数も違うが残食率はどうなっているか。

学校給食

学校給食の残食率は
給食センター毎に差がある

／学校教育課長



給食センターでの調理の様子

とが原因だと考えられる。... するための努力をしたい。できるだけ残食率を低く

危険建築物対策

倒壊しかけた建物について

見積もりの徴収ができ、工法、金額等が決定したら

町道内に防護ネットを設置する予定／建設課長



佐竹 将典 議員

ている住民も多いがどう
考えているか。

下元建設課長

まずは町
において町道内に防護ネ
ットを設置する予定で、
現在その工事の見積り依
頼をしている状況。その
見積り徴収により、工法、
金額等が決定次第、整備
をしていきたい。

佐竹

そのネットを設置
した場合には通行止めが
解消されるのか。

下元建設課長

現在見積
り段階で、工法は決定し
ていないが、防護ネット
を家と町道との間に設置

する予定だ。単管の足場

を組んでネットを張る工

法になると思うが、安全

対策基準に沿った防護ネ

ットを設置し、その後の

安全確認を行ったうえで

通行可能にする予定で考

えている。

佐竹

防護ネットの耐久
性は大丈夫か。

下元建設課長

見積り段
階で高さをどれぐらいに
するかにもよる。安全ネ
ットの基準に従い設置を
行い、耐震性も備わった
ネットを設置し、災害等
の事前の防止も兼ねて設
置していきたいと考えて

その他の質問

●移動支援サービス
について



対策が急がれる危険な建築物



堀本 伸一 議員

町民全体に陳謝すべき 事業達成ができなかったことの 真意を示したものだ／町長

堀本 本事業の
工事中止の報告
が町長より示さ
れたが、内容は
関係機関の方に
対しての陳謝で
あり、町民全体
を意味するもの
でないと判断す
るが、真意を示
せ。

森副町長 合併
特例債の期限を
考え現施設規模による整
備は不可能であり、中止
はやむを得ない内容を報
告したものであり、町長
からは施設完成を心待ち
にしていた方々に対する
お詫びの言葉を結んだも
のだ。

堀本 この施設計画に対
して住民投票を求めた町
民の直接請求が実施され
てきた経緯があり、町長



町立図書館

はいずれの事情があるに
しても、この二つの事案
が中止になった結果は、
町民全体に陳謝すべきで
はないか。真意を示せ。

中尾町長 私の公約事業
であることと、本当に心
待ちにしていたいたの方
々に対し、達成できなか
った気持ちを表現したも
のだ。

文化的施設

政治判断の欠如では
手続きに瑕疵はなく肅々と／町長

堀本 住民による直接請
求は町長の再議権行使の
結果、議決により廃案と
なった。その会期中に工
事請負契約の議案が提案
されたが、町長はその時
点でこの議案が安易に可
決される自信があつての
提案だったのか何う。

森副町長 慎重に会議や
手続きを進め瑕疵もない
状態を確認し、仮契約を
行ってきたので請負締結
議案は可決されると判断
し提案したものだ。

堀本 住民投票を求める
直接請求が提出された限
り、その結果を見るまで

工事発注を止める等の政
治判断が町長には必要で
はなかったのか。

中尾町長 令和7年12月
までに工事の整備をする

ことは、公約の中に示し
た合併特例債を有効に活
用するため、工程に猶予
はなく必死で進めてきた
ものだ。



役場本庁舎

令和6年4月から～令和6年6月定例会まで 各議員の出席状況

○：出席 □：公務 欠：欠席 代表：議会を代表して出席 /：参加要請なし

議員の出席状況

月 日	用務の概要	味元 和義	水間 淳一	橋本 章央	中野 正延	林 健三	堀本 伸一	山本 大輔	武田 秀義	村井 眞菜	緒方 正綱	中屋 康	田邊 哲夫	伴ノ内 珠喜	佐竹 将典	古谷 幹夫	下元 真之
4月11日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	/	/	○	/	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○
4月12日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
4月17日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	/	/	○	/	/	○	○	○	/	○	/	○	/	○	○
4月19日	議会改革調査特別委員会（ZOOM 研修）	/	○	/	/	/	/	○	○	○	/	○	/	/	○	/	○
4月24日	広報・広聴常任委員会（議会だより編集）	/	/	/	○	/	/	○	欠	○	/	○	/	○	/	○	○
4月25日	産業建設常任委員会	/	/	○	○	/	/	/	/	○	/	/	/	/	○	○	/
4月30日	議会改革調査特別委員会（視察研修）	/	○	/	/	/	/	○	○	欠	/	○	/	/	○	/	○
5月1日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○	○	/	/	/	/
5月2日	議会運営委員会	○	○	○	/	○	/	/	○	/	/	/	欠	/	○	○	○
5月8日	令和6年第2回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
5月8日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
5月8日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○
5月15日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○	○	/	/	/	/
5月21日 ～22日	令和6年度町村議会議長・副議長研修会 県選出国 会議員との意見交換会	○	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5月24日	産業建設常任委員会	/	/	○	○	/	/	/	/	欠	/	/	/	/	○	○	/
5月25日 ～26日	発足76年大阪高知県人会総会	○	/	○	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
5月27日	教育民生常任委員会（窪川小・東又小学校訪問）	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
5月28日	議会改革調査特別委員会	/	欠	/	/	/	/	○	○	欠	/	○	/	/	○	/	○
6月3日	議会運営委員会	○	○	○	/	○	/	/	○	/	/	/	○	/	○	○	○
6月3日	予土線利用促進対策協議会 総会	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6月5日	令和6年第2回定例会（開会）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月5日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○
6月5日	自衛隊四万十町窪川支部家族会通常総会	欠	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
6月6日	教育民生常任委員会	/	○	/	/	○	/	/	/	/	○	/	/	○	/	/	○
6月6日	産業建設常任委員会	/	/	○	○	/	/	/	/	○	/	/	/	/	○	○	/
6月7日	総務常任委員会	○	/	/	/	/	○	○	○	/	/	○	○	/	/	/	/
6月11日	令和6年第2回定例会（第7日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○
6月12日	令和6年第2回定例会（第8日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月13日	令和6年第2回定例会（第9日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○

*紙面の都合上、議長のみの出席用務（15件）は省略しています。



意思表明

○賛否の分かれた議案

○：賛成 ●：反対

議案	水間 淳一	橋本 章央	中野 正延	林 健三	堀本 伸一	山本 大輔	武田 秀義	村井 真菜	緒方 正綱	中屋 康	田邊 哲夫	伴ノ内 珠喜	佐竹 将典	古谷 幹夫	下元 真之	味元 和義	
発議第3号 文化的施設整備事業の（中止）撤退による要因究明に関する調査特別委員会の設置について	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●		賛成少数 原案否決

○全会一致の議案

【5月臨時】 議 案	結 果
承認第2号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町税条例の一部を改正する条例)	可決
承認第3号 専決処分の承認を求めることについて(四万十町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	可決
同意第1号 教育委員会委員の任命について	同意可決
同意第2号 固定資産評価員の選任について	同意可決
同意第3号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意可決
同意第4号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意可決
同意第5号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意可決
【6月定例】 議 案	結 果
諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
諮問第2号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適任
同意第6～24号 農業委員会委員の任命について	同意可決
請願第6－1号 請願書の取り下げについて	許可
議案第51号 松葉川地区基幹集落センター新築工事請負契約の締結について	可決
議案第52号 東又小学校校舎棟大規模改修工事(建築主体)請負契約の締結について	可決
議案第53号 窪川学校給食センター厨房機器入替え工事に係る厨房機器の売買契約の締結について	可決
議案第54号 四万十町指定ごみ袋の売買契約の締結について	可決
議案第55号 スポーツトラクターの売買契約の締結について	可決
議案第56号 損害賠償の額を定めることについて	可決
議案第57号 町道路線の変更について	可決
議案第58号 令和6年度四万十町一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第59号 令和6年度四万十町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決
発議第2号 地方における訪問介護事業所への支援を求める意見書	可決

契約案件

契約金額

1億6720万円

契約の相手方

松葉川地区基幹集落センター
新築工事請負契約の
締結について

四十町大正230番
地8
株式会社田邊建設
代表取締役 田邊一也

工事名

令和6年度 松葉川地区
基幹集落センター新
築工事（建築主体）

工期

議決日の翌日から令和
7年2月28日まで

工事場所

四十町作屋地内

工種

建築一式工事



松葉川地区基幹集落センター工事場所

東又小学校校舎棟大規模 改修工事請負契約の締結 について

工事名

令和6年度 東又小学
校校舎棟大規模改修工
事

工事場所

四十町黒石地内

契約金額

1億1770万円

契約の相手方

四十町大正230番
地8
株式会社田邊建設
代表取締役 田邊一也

工期

議決日の翌日から令和
7年1月31日まで

工種

建築一式工事



東又小学校

窪川学校給食センター厨 房機器入替え工事に係る 厨房機器の売買契約の締 結について

契約件名

令和6年度 窪川学校
給食センター厨房機器
入替え工事（厨房機器
購入）

契約金額

2893万円

契約の相手方

松山市天山3丁目13番
12号 ウエストビル天
山1F
株式会社中西制作所
松山営業所
所長 水野裕一郎

納入場所

四十町香月が丘地内

納期

議決日の翌日から令和
6年8月31日まで



窪川学校給食センター

四万十町指定ごみ袋の売買契約の締結について

■納入場所

四万十町秋丸地内

■契約件名

令和6年度 四万十町指定ごみ袋購入事業

■納期

議決日の翌日から令和7年1月22日まで

■契約金額

1197万1575円

■購入物品

指定ごみ袋

■契約の相手方

高知市高須新町4丁目1-43

株式会社三井 高知営業所

所長 松木一夫

可燃(大) 46万枚
可燃(小) 18万枚
資源(大) 6万2500枚
資源(小) 3万枚



町指定ゴミ袋

スポーツトラクターの売買契約の締結について

■契約件名

令和6年度 四万十町窪川運動場スポーツトラクター売買契約

■契約金額

1155万円

■契約の相手方



スポーツトラクター

高知市百石町1丁目18番14号

ワールドスポーツ株式会社

代表取締役 松井智治

■納入場所

四万十町金上野地内

■納期

議決日の翌日から令和7年3月19日まで

人事案件

人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員、吉村和子氏、山中弘子氏、両氏の任期が令和6年9月30日をもって満了することに伴い、両氏を人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるもの。

農業委員会委員の任命について

四万十町農業委員会委員の任期が令和6年8月31日をもって満了することに伴い、新たな委員19人を任命することについて、農業委員会等に関する法律第8条第1項の規定により議会の同意を求めるもの。





常任委員会報告

■総務常任委員会

5月1日に委員会を開き、継続的な聞き取り調査として、町職員の時間外労働の現状と仁井田のりん家の現状と課題について、総務課ならびに企画課から報告を受け、意見交換を行った。

時間外労働に関しては、主に選挙やイベント、業務内容などによるということ。選挙事務においては広い面積の四万十町での投票所開設に伴うことと、イベントや業務に関しては今後、さらに業務対応の見直しや効率化を図ることが必須で、対策が求められていることなどを聴取し意見交換を行った。

また、大正・十和地域振興局の業務環境について、それぞれの局長から聞き取りを行い、両振興

局とも限られた人数で、

職員はそれぞれ職務を兼務しながら遂行しているため、職員が外出するなどした場合、窓口サービスで手薄になり、迷惑をかけている現状がある。

本庁、地域振興局ともに業務の効率化、人員の配置など、今後、職員の

減少を見据えた体制づくりが必要と考える。

次に、仁井田のりん家の活動状況においては、台所部会、交流部会、サポート部会、観光開発部会、農業支援部会と、それぞれの部会を構成し活動している。



職員の減少を見据えた体制づくりが必要となっている

課題としては、運営経費の捻出が大きなものとなっているのが現状である。今後は集落支援員や協力隊など、制度をさらに活用し、活性化に向けた取り組みが必要であると考える。

今後所管課と連絡を密にして注視していくこととする。

■教育民生常任委員会

教育民生常任委員会の3月定例会以降の活動について報告する。

3月7日、請願の精査及び付託議案の審査を行った。

4月12日、先進地視察研修や町内各小学校の訪問計画について協議を行った。また、所管事務調査として、図書館十和分館の今後の動向について教育委員会より説明を受け、聞き取りを行った。

5月8日、小学校訪問の計画や議員全員で行った地域聞き取り調査の教育民生常任委員会の所管に係る部分について、取りまとめを行った。

5月27日、窪川小学校と東又小学校を訪問し、授業の様子を見学し、学校運営について学校長より説明を受け、質疑応答を行った。また、東又小学校の校舎大規模改修工事は5000万円以上の



小学校を訪問しての意見交換

予算計画であるため、学校教育課から委員全員で説明を受け、2年かけて工事を行うことを確認した。

今後は、8月までに全ての小学校を訪問し終える予定。

産業建設常任委員会

3月定例会以降の活動報告を行う。

3月定例会では1件の陳情案件を審査(不採択)。

4月の常任委員会では

①ふるさと納税について

②大正集成材加工場の現状と今後について

③数神木質バイオマス加工場の現状と今後について

④町有林の現況について

⑤レンゲ米栽培農家現地視察

以上の5項目をテーマに実施。

ふるさと納税に関しては令和5年度9億8000万円の見通しで、県下4番目になるとの報告を受けた。

大正集成材加工場に関しては、本年4月に閉鎖。これに伴い、展示場分で1676万4000円、ボイラー建屋で300万円ほどの補助金返還が生じることを確認。

また、今

後は木質バ

イオマス発

電事業が計

画されてお

り、令和8

年6月に運

転開始予定

とのこと。

今後、行政

として指導

的立場から

の関わりを

求めている。

③の木質

バイオマス

加工場に関

しては、現

在頓挫状態にあるが、制

約条件があり現状維持を

余儀なくされていること

を確認。

④の町有林の現況につ

いては、本町林業の現況、

町有林の直近の森林施業

について説明を受け、意

見交換を行った。

午後からは、瀬里轟山

施業地の現地視察と葛籠



町有林の現場視察

広報広聴常任委員会

広報広聴常任委員会の1年間の活動状況について報告する。

まず、住民の皆さんの

意見を聞き取る活動、広

聴活動について報告する。

現在、四万十町議会では

地域を訪問して意見交

換の場を設けるため、聞

き取り調査を充実させる

よう力を入れて取り組ん

でいる。また、昨年は9

月議会において、文化的

施設の契約案件否決とい

う大きな問題があったの

で、12月議会直前の12月

4日に議会報告会・意見

交換会を開催し、当日は

会場に来ることができな

い方にも配慮して、ケー

ブルテレビでの生中継放

送を行った。

聞き取り調査について、

令和5年の実績では5月

に窪川の街分地域、10月

に大正の街分地域。今年

に入り3月議会直後に十

和の昭和・十川の中心地

域周辺を訪問。今後は窪川、大正、十和、各地域の各集落に細かく入っていくよう計画を進めている。

また、住民の皆さんとのやり取り記事の「キヤッチボール」などにも取り組みながら編集をしている。

次に、議会広報について報告する。議会の広報紙「議会だより」は3月、6月、9月、12月の定例会後に毎回発行。内容は各定例会の議案に対する質疑、予算に対する質疑、一般質問での質疑応答の要約などを軸にしな

ら、行政課題に対する追いかけて記事の「ありやどうなっちゃうぜよ」、また、情報公開の視点から動画配信の利用についても検討を進めているが、費用と事務局職員の負担が増えないように注意をしながら、新たな視点を取り入れ、より活発な広報活動に取り組んでいけるよう委員会としての議論と実践、実行を進めていく。



町政、議会運営について地域聞き取り調査を実施

発議

地方における訪問介護事業者への支援を求める意見書（案）

【発議者】 山本大輔

【賛同者】 田邊哲夫

緒方正綱

訪問介護事業者によるサービス



厚生労働省が決定した2024年度の介護報酬改定を受け、高知県にとつては、今後、訪問介護サービスの運営が立ち行かなくなるおそれがあることから、以下の事項について特段の措置を求める。

1. 今回の基本報酬引下げの地方における影響を考慮し、3年後の介護報酬改定を待たず、必要に応じて訪問介護事業所への経済的な支援を行うこと。

2. 都市部と地方部での経営実態の違いを踏まえて、介護事業経営調査の見直しを図ること。

（採決結果）
全会一致により可決

文化的施設整備事業の（中止）撤退による要因究明に関する調査特別委員会の設置について

【発議者】 堀本伸一

【賛同者】 古谷幹夫

本年3月定例会において、文化的施設整備事業の（中止）撤退が町長より宣告されたが、その要因はどこにあり、何がそうさせたのか。今回の、請負業者をも巻き込んだ前代未聞の政治的混乱を招くに至った事態は、住民自治に背いた政治的判

断の誤りが原因であり、町長の重大な失政であると言わざるを得ない。

議会は、住民の代表であり執行部の監視機関である立場から、その要因を究明し責任の所在を明らかにする行動が求められる。今後、同じ過ちを起こさず健全なる自治の運営を整えることは、町行政の基本と責任であり、この度、調査特別委員会の設置を強く求めるものである。

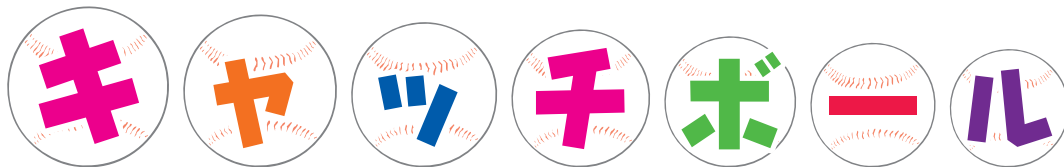
（反対討論）
なし

（賛成討論）

文化的施設整備事業が廃案になったことは、議会の責任であるとの発言が、町長、副町長の2人から発せられたことに対しては、極めてゆゆしき発言であったと捉えてい

る。また、結果的に廃案に至った経緯を振り返ってみても、まちづくり基本条例及びその上位法でもある地方自治法に照らして精査することは、私たち議員としても議会としても、避けて通れない責務であると考え、そのためには、文化的施設整備事業が廃案に至った原因がどこにあり、その責任の所在を含め、しっかりと総括を行い、今後の議会活動、議会運営に活かす糧とすべきであると考え。

（採決結果）
賛成少数で否決



このコーナーは町民の皆様からの議会に対する意見や、行政に提言をしてもらいたいこと、また旬の話題などを取り上げて、議会と町民の皆様とのキャッチボールを行うものです。



四万十ケーブルテレビ

19時から23時ごろまでの時間帯に利用者が多く、また映像などの大容量データ

A

四万十ケーブルテレビからインターネット

の回線容量(土管)を大きくする工事を実施。

Q

ケーブルテレビの回線工事をやりよったけど、どうなったのか、工事をしたことでよくなつちゅうがやろうか。

「ケーブルテレビインターネット上位回線切替工事終了」

Q

一般の家庭なら、どのコースに申し込むのがえいがやろう。

A

インターネットサービスのコース選択については使用状況によって異なります。

また、ご自宅(職場)内のLANケーブルやルータ、使用端末(パソコン・スマホなど)の能力によっても速度が違ってきますが、参考として利用の目安、必要回線速度は次のとおりです。

【30Mbps コースの目安】

メール・LINE・SNS	1～3Mbps	ネット検索	1～10Mbps
スマホゲーム	1～5Mbps	動画視聴(1080p/720p)	2～5Mbps
Web会議(1対1)	3～30Mbps	Web会議(大人数)	10～30Mbps

【100Mbps コースの目安】

Web会議(大人数安定的に)	10～30Mbps	オンラインゲーム	30～100Mbps以上
動画視聴(4K)	20～70Mbps		

Q

今でも家で動画とかを見よつたらネット接続が不安定な状態になることがあるけど、どういふことなやろうか。家にあるWi-Fiの器具が悪いやろうか。

A

使用状況で異なるので一概にお答えしにくいですが、よくある接続不具合については

○Wi-Fiルータが

フリーズ(動作不安定)状態

↓電源を切つて1分程度放置して再度、電源を入れる。

○Wi-Fiルータと

使用機器が離れていて電波が不安定

↓中継機やLAN配線(1ギガ対応)などの増設や配線工事が必要。

○使用している端末(スマホ、タブレット、PC)が不具合

↓端末の再起動の実施。Wi-Fiルータの電波を接続し直す。

○ケーブル機器ONUの不具合や故障

↓ケーブル職員などが伺つて、ONU機器の交換を実施。

※接続が不安定でネット接続が上手くいかない場合、使用状況によって症状が異なるので四万十ケーブルテレビにご連絡いただければ幸いです。

月々土 午前9時から午後6時まで
0880-22-117



こども家庭センター「楓」

つたゆうたねえ、内容はどんなが。

Q 令和6年度4月より子育て世代包括支援センター「楓」から、

四万十町こども家庭センター「楓」に名称が変わ

A 四万十町こども家庭センター「楓」

の場所は変わらず東庁舎一階健康福祉課奥に相談



こども家庭センター「楓」

窓口と乳児が過ごせる部屋を構え、産前産後のケアはもちろん、0歳から18歳までの子育て期間を幅広くサポートしています。また、不妊治療助成の窓口にもなっています。虐待、貧困、ヤングケアラーなどの課題を抱えた方々の相談や情報もお受けしています。

Q どんな人がスタッフにおるがやろう。

A 助産師、保健師が本庁と大正、十和

地域振興局で日常的に寄り添いながら支援しています。また、今後は生涯学習課、学校教育課、地域子育て支援センターとの連携を密にし、切れ目

のない子ども子育て支援体制を構築していく予定です。

Q 気軽に行ってもかまんがやろうか。

A 乳児の体重測定や、発達相談、沐浴練習などできます。お母さんだけでなく、お父さんやご家族、子どもさん本人からの相談も受けています。お気軽にお越しください。また電話でお知らせいただけたら、個室で相談対応もできます。

Q 産科・小児科医に24時間オンライン相談もできるようになつたよね。

A 医療体制に不安を感じる保護者の方に向け、小児科・産婦人科医師、助産師に24時間

いつでも相談できるサービスを導入しました。予約制の夜間相談もあり、受診が必要かどうかの見極めや対応法を教えることも可能です。

分らないことがあれば、健康福祉課（0880-22-3115）までご連絡ください。

表紙の紹介

あじさい（紫陽花）

花言葉は、「元氣な女性、強い愛情」です。

（注）花言葉は花の色によつて、異なるようです



編集後記

子どもも、大人も「ただいま」と家に帰ってきて、飛び込める川、海、山がある四万十町。自然の中に飛び込めば、発見、感動、気づきがある。「川が先生」というキャッチフレーズがあり、先人の知恵が今もなお息づいている。

美しい水や空気、私たちが生きるうえで欠かせないもの。豊かな森林を次世代につなげていきたい。暑い季節となりました、熱中症にお気をつけください。

（村井真菜 記）

【広報広聴委員会】

委員長 下元 真之
副委員長 山本 大輔
委員 中野 正延
武田 秀義
村井 真菜
中屋 康
伴ノ内 珠喜
古谷 幹夫